

新庁舎建設事業につきましては、令和2年度に策定しました「西郷村拠点づくりプロジェクト基本計画」に基づき、基本設計を進めています。

基本設計を進めるにあたっては、村役場内部だけでの検討だけではなく、村議会及び有識者や村内公共的団体の推薦者等で構成される「西郷村新庁舎建設検討委員会」においても検討しております。

今回は、西郷村新庁舎建設検討委員会の開催や文書量及び地質調査の実施、設計コンセプト(案)についてお知らせします。

## 01 西郷村新庁舎建設検討委員会の開催

新庁舎の建設には、村民の皆様のご理解を頂きながら進めることが大切であるため、基本設計作成に向け西郷村新庁舎建設検討委員会や全員協議会を開催し協議を進めています。

### 第3回新庁舎建設検討委員会の協議内容▼

- 土地利用計画・平面計画について
- 基本設計(中間報告)について
- スケジュールについて



## 02 文書量調査を行いました。

基本設計業務の一環として、庁内の文書・物品量等の調査を行いました。

文書・物品量の調査は、新庁舎に必要な書庫の大きさやキャビネットの数、倉庫の容量を検討するための基礎資料となります。

また、デジタル化の推進に伴い、文書の電子化や管理システム導入の検討についても併せて進めています。



## 03 地質調査を実施しました。

新庁舎の建設にあたっては、計画地における地盤状況の把握が必要となります。調査により、庁舎基礎の種類や建物の耐震性確保の手法等について、より具体的な検討を行うことができます。新庁舎建設予定地である役場敷地内においても、地質調査を行っております。



# 新庁舎設計コンセプト方針(案)

西郷村の新しいシンボルとなる新庁舎の設計コンセプトを紹介します。

※現在、基本設計を策定中であり、今後検討委員会、パブリックコメントを実施し決定していきます。



## 庁舎・保健センター・交流スペースでつくる新しい西郷の拠点

### 1. 機能的・効率的であり村民が身近に感じられる庁舎

分散していた庁舎窓口を集約し、住民サービスの向上や将来的な組織改変等に柔軟に対応できる機能的・効率的な庁舎とします。また、保健センター、村民に解放するラウンジや会議室を設け、村民の交流・保健活動を支える庁舎とします。

### 2. 環境と景観に配慮し村民に親しまれる庁舎

自然採光や自然換気等を積極的に活用する環境配慮型の庁舎とします。ユニバーサルデザインを徹底し低層の建物を計画することで、すべての方が使いやすい庁舎とします。

### 3. 「拠点エリア」とつながり高原公園都市の玄関口となる庁舎

まるごと西郷館や文化センターと連続して拠点エリアを形成する庁舎とします。来庁者が西郷村の暮らしや文化、豊かな自然環境を感じることができる庁舎とします。

### 4. 安心・安全の拠点として村民の暮らしを守る庁舎

村民の安心安全な暮らしを支える拠点として、耐震性能の高い庁舎とします。災害時には拠点エリアと連携して災害対策本部として機能し、業務継続ができる庁舎とします。

新庁舎概念図



### Q.新庁舎建設の財源は?

新庁舎建設等の財源は、地方債や一部国庫補助金等と村の自主財源(各種基金や村税、地方交付税等の収入)で対応します。

建設工事費の地方債は、「公共施設等適正管理事業(市町村役場機能緊急保全事業)」の活用を予定しています。

※「公共施設等適正管理事業(市町村役場機能緊急保全事業)」

昭和 56 年の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施の市町村の本庁舎の建替え事業を対象とした地方債